

メルボルン王立工科大学とのGPBL(メルボルンにて)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年02月26日 ～2023年03月10日	オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	・機械機能工学科 ・学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生5名、学生バイト1名、 教員2名 (ロイヤルメルボルン工科大学) 学生4名、教員4名	小野 直樹 (機械機能工学科)、 斎藤 寛泰 (機械機能工学科)



図1 研修を実施するカフェテリアにて

機械機能工学科の3年生5名が参加した。TAとして修士1年生1名も参加し、教員は斎藤と小野が分担して引率した。先方のRMITの担当教員のProf.Abhijit Dateから、メルボルンにおける日中の電力使用量の平準化のためのエネルギー蓄積技術についてのテーマを頂き、二つのグループに分かれて議論した。学生たちは、熱力学・流体力学・伝熱工学の知識をフル活用して、理論計算等を種々おこなって、技術提案を行い、実施可能性について発表した。中間発表と最終発表を英語で実施し、教員やメンター役のRMITの博士課程学生等から質疑を受け議論した。揚水および圧縮空気によるエネルギー蓄積を提案していた。参加学生からはとても有意義な研修で、大変良い経験になったとの感想をもらった。以上



図2 最終発表会の様子1



図3 最終発表会の様子2



図4 RMIT博士学生によるデモ実験